

令和5年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	治水対策事業の推進				担当課名	建設水道課
					担当係名	関連調整係
(予算書コード)	08-03-01-10-01					
事業区分	単年度予算	運営方法	その他			
事業の開始・終了	年 月 ~		年 月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)		
根拠法令等の名称	諏訪圏域河川整備計画他					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	町民の生命財産を守るため災害に強いまちづくりを目指し、県と連携し「諏訪圏域河川整備計画」に基づく砥川の治水対策の推進、平成18年7月豪雨災害を教訓に承知川の河川改修、十四瀬川の護岸整備を推進するとともに、高木地区に砂防堰堤を整備し土石流の抑止及び溪流浸食の防止を図る。						
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	県の予算額に対する実績	実施額／予算額	千円	目 標	73,000	399,000	186,000
				実 績	157,180	490,000	
				達成率	215.3%	122.8%	

【投入されたコスト・業務量】

			令和4年度決算		令和5年度決算		令和6年度予算	
事業費	事業費 A		22 千円		30 千円		31 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費		人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B		0.80 人	5,255 千円	0.80 人	5,399 千円	0.80 人	5,524 千円
事業費合計 C (A+B)			5,277 千円		5,429 千円		5,555 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		千円		千円	
		県の負担	千円		千円		千円	
		町の借入	千円		千円		千円	
		その他	千円		千円		千円	
		うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円	
一般財源（町の負担）			5,277 千円		5,429 千円		5,555 千円	
受益者負担率（D／C）			0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町以外では行えない 町民の生命財産を守るのは町の責務であり、管理者である県と協力して河川整備等を適切に進めていく必要がある。
公平性	A	適切である 受益者は町民全体である。また、主たる事業者は県であることから、町の負担額は僅かである。
効率性	A	適切である 事業規模と比較して、町の負担額が極端に少なく効率的である。
達成度	A	目標値以上である 令和5年度に承知川の整備が完了した。今後、砥川浮島周辺整備や大沢川の砂防堰堤設置に向けた工事用道路の整備などの手続きを進めていく。

総合評価	現状維持	町民の安心安全のための事業であり、各種事業の早期完成が望まれる。町では県に対し、速やかに整備いただくよう治水対策事業の推進を県に要望していく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和5年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	国道20号バイパスの建設促進				担当課名	建設水道課
(予算書コード)	08-04-04-10-01				担当係名	関連調整係
事業区分	単年度予算	運営方法	その他			
事業の開始・終了	年	月	～	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)
根拠法令等の名称						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	諏訪広域及び近隣圏域の発展、快適な生活環境づくりの推進、交通安全・交通渋滞、災害時の緊急輸送路の確保、地域発展・観光産業の活性化等のため、国道20号バイパスの建設促進・現道改修を図る。					
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和4年度	令和5年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	バイパス事業化延長に対する工事完成延長	工事完成延長／事業化区間延長	km	目 標	1.7	7.3
				実 績	0	0
				達成率	0.0%	0.0%

【投入されたコスト・業務量】

			令和4年度決算		令和5年度決算		令和6年度予算	
事業費	事業費 A		679 千円		579 千円		1,108 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費		人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B		1.20 人	7,883 千円	1.20 人	8,098 千円	1.20 人	8,287 千円
事業費合計 C (A+B)			8,562 千円		8,677 千円		9,395 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		千円		千円	
		県の負担	千円		千円		千円	
		町の借入	千円		千円		千円	
		その他	千円		千円		千円	
		うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円	
一般財源（町の負担）			8,562 千円		8,677 千円		9,395 千円	
受益者負担率（D／C）			0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である
効率性	A	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 適切である
達成度	C	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値以下である

総合評価	拡 充	下諏訪岡谷バイパス第1工区は、令和6年8月に(仮称)山田トンネルが竣工予定となっており、また令和6年中に砥川本線橋建設のための仮橋の一部が完成する予定となっている。諏訪バイパスは、一部調査中区間(4.7km)となっているため建設促進期同盟会とともに早期全線事業化及び早期完成に向けた活動を行っていく必要がある。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	拡 充	

令和5年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	都市計画道路3・4・12号 赤砂東山田線整備事業				担当課名	建設水道課	
					担当係名	関連調整係	
(予算書コード)	08-04-01-05-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	その他				
事業の開始・終了	年 月 ~		年 月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)			
根拠法令等の名称	都市計画法、都市計画法施行令						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	町民のための安全で快適な交通環境を確保するため、一般国道20号下諏訪岡谷バイパスと町の市街地を結ぶ、下諏訪都市計画道路3・4・12号「赤砂東山田線」の整備に向け、長野県や地権者との調整や事務手続きを進める。						
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	地元負担金累計額	県事業の実施にあたり、町で街路区間整備に対して支出する負担金の総額に対する累計負担金額	千円	目 標	120,000	120,000	120,000
				実 績	4,092	11,592	
				達成率	3.4%	9.7%	

【投入されたコスト・業務量】

			令和4年度決算			令和5年度決算			令和6年度予算		
事業費	事業費 A		3,267 千円			7,500 千円			89,889 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費		人	千円	人	千円	人	千円			
	正規職員人件費 B		0.80 人	5,255 千円	0.80 人	5,399 千円	1.00 人	6,905 千円			
事業費合計 C (A+B)			8,522 千円			12,899 千円			96,794 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		千円		千円				
		県の負担	千円		千円		千円				
		町の借入	千円		千円		千円				
		その他	千円		千円		89,812 千円				
	うち 使用料・手数料 D		千円		千円		千円				
一般財源（町の負担）			8,522 千円			12,899 千円			6,982 千円		
受益者負担率（D／C）			0 %			0 %			0 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町以外では行えない 本事業は県が事業者であるが、各種手続きや地権者との交渉において町の果たす役割が大きく、県と協力して進める必要がある。
公平性	A	適切である 市街地における通過交通の排除と円滑な交通確保のため必要な路線であり、町民のみならず、全ての道路利用者に受益がある。
効率性	A	適切である 必要最小限の職員数で執行している。
達成度	B	目標値どおりである 地元説明会開催及び境界立会が実施されるなど計画通り進められている。

総合評価	拡 充	事業計画説明会及び用地説明会が開催され、また境界立会が実施されるなど大きく動き出している。今後、物件調査を経て事業用地譲渡のための個別交渉に移っていく。早期の完成を目指し、長野県と調整をとりながら着実に整備を進めていく。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	拡 充	